

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和2年2月13日 (2020.2.13)

【公開番号】特開2019-13332(P2019-13332A)

【公開日】平成31年1月31日 (2019.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2019-004

【出願番号】特願2017-131283(P2017-131283)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月25日 (2019.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を用いた遊技が行われる遊技盤と、前記遊技に関連して所定の演出画像を表示する液晶表示装置と、を備える遊技機であって、

前記遊技機の後側には、

電子部品が実装される基板と、

該基板を収容する基板ボックスと、

遊技機外部から遊技球を受け入れて下流側に誘導する遊技球供給部と、

前記遊技機の前後方向に所定の幅を有する上板面と、前記遊技機の上下方向に所定の長さを有する後板面と、を有する保護部と、

が設けられ、

前記遊技球供給部は、

遊技球を受け入れて貯留する球タンクと、

該球タンクに貯留されている遊技球を下流側に向けて転動させるように、前記遊技機の左右方向の略中央から当該遊技機の一側端部付近に亘って形成されるタンクレールと、を有し、

前記タンクレールの少なくとも一部には、異物を下方に落下させ得る放出孔が形成され、

前記保護部は、前記放出孔の真下に位置するように前記タンクレールの下方位置に配設されるとともに、前記上板面を前記放出孔の真下に留めた状態で当該タンクレールの下方位置から移動可能とされており、

前記基板ボックスは、前記基板が収容される内部空間を形成する複数の壁部を有し、前記保護部の前記上板面の下方に他の基板ボックスを挟むことなしに配置されると共に、前記保護部の前記後板面よりも前側に配置され、且つ、前記基板に接続されるコネクタは、前記基板ボックスの上面となる前記壁部を避けた位置に設けられる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来より、球タンクからの遊技球を下流側へ導くタンクレールを備える遊技機が提案されている（例えば、特許文献１）。このタンクレールには、遊技球によって生ずる異物を排出する孔が設けられていた。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献１】特開２０１３－２１５４４０号公報（図２）

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところが、タンクレールに設けられる孔から落下する異物がタンクレールの下方に配置される制御基板に付着すると、電氣的なトラブルが生じて制御基板に不具合が発生したり、誤動作したりする等の原因となっていた。最近の制御基板では、制御対象の数が増大することによりコネクタのピン間隔が狭くなり、コネクタの数が増大することでコネクタの間隔が狭くなっていると共に、さらに、ＩＣのピン間隔が小さくなっているため、タンクレールからの落下異物による電氣的なトラブルの対策を講ずる必要がある。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、タンクレールからの落下異物による電氣的なトラブルを防止することができる遊技機を提供することにある。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

（解決手段１）

遊技機において、

「遊技球を用いた遊技が行われる遊技盤と、前記遊技に関連して所定の演出画像を表示する液晶表示装置と、を備える遊技機であって、

前記遊技機の後側には、

電子部品が実装される基板と、

該基板を収容する基板ボックスと、

遊技機外部から遊技球を受け入れて下流側に誘導する遊技球供給部と、

前記遊技機の前後方向に所定の幅を有する上板面と、前記遊技機の上下方向に所定の長さ
を有する後板面と、を有する保護部と、

が設けられ、
前記遊技球供給部は、
遊技球を受け入れて貯留する球タンクと、
該球タンクに貯留されている遊技球を下流側に向けて転動させるように、前記遊技機の
左右方向の略中央から当該遊技機の一側端部付近に亘って形成されるタンクレールと、を
有し、

前記タンクレールの少なくとも一部には、異物を下方に落下させ得る放出孔が形成され
、

前記保護部は、前記放出孔の真下に位置するように前記タンクレールの下方位置に配設
されるときに、前記上板面を前記放出孔の真下に留めた状態で当該タンクレールの下方
位置から移動可能とされており、

前記基板ボックスは、前記基板が収容される内部空間を形成する複数の壁部を有し、前
記保護部の前記上板面の下方に他の基板ボックスを挟むことなしに配置されると共に、前
記保護部の前記後板面よりも前側に配置され、且つ、前記基板に接続されるコネクタは、
前記基板ボックスの上面となる前記壁部を避けた位置に設けられる、」

ことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

本発明の遊技機においては、タンクレールからの落下異物による電氣的なトラブルを防止することができる。